

塩川小コミュニティスクール通信

第2回塩川小学校コミュニティスクール委員会が開催

11月22日（金）に、第2回塩川小学校コミュニティスクール委員会（学校運営協議会）が開催されました。広報部、評価部、学習支援部の活動の進捗状況の確認、成果と課題、今後の取り組みや次年度以降の活動について話し合いを行いました。



【広報部の実践】

- (1) 「塩川小コミュニティスクール通信」を保護者に配付、地区へ回覧した。
- (2) 学校だよりで、学習支援ボランティアの協力の様子などを周知した。
- (3) 塩川総合支所他、11か所に「塩川小コミュニティスクール通信」を掲示した。

＜今後の予定＞ ・「塩川小コミュニティスクール通信」を掲示する施設・店舗を増やす。

【評価部の実践】

- (1) コミュニティスクール委員が、塩川小公開授業研究会やキラリ塩小デー（学習発表会）を参観した。

＜今後の予定＞ ・学校運営（めざす児童像）に関する評価を行う。
・コミュニティスクール制度が、教育活動や授業の充実、教職員の子どもと向き合う時間の確保に資するものになっているか検証する。

【学習支援部 学習支援委員会の実践】

- (1) 丸付けボランティアによる宿題の丸付けによって、教職員が子どもと向き合う時間が増えた。また、子どもも、朱書きの励ましやアドバイスで、学習の仕方の改善をしたり、学習意欲を高めたりしている。学習ボランティアも、先生方に感謝され、やりがい感を感じている。
- (2) 図書ボランティアによる読み聞かせ、図書の整理や貸し出し補助、図書室の掲示によって、子どもの読書意欲、読解力や集中力が高まっている。
- (3) 茶道クラブや祭囃子、放課後学習会、筆耕（賞状の「氏名」書き）など、さまざまな学習の支援に協力いただき、子どもの学習意欲や学力向上につながっている。

＜今後の予定＞ ・祭囃子、ミシン・スキー学習の支援などを募集する。
・人材リストと活用計画を作成する。



【学習支援部 安全支援委員会の実践】

- (1) 1年生の南ヶ丘牧場への遠足、生活科の学習のドングリ拾いの安全支援に協力いただいた。多くのボランティアの方に安全支援をいただいたことによって、先生方の子ども達への個別指導（子どもへの言葉かけ、気付きの聞き取り）が充実した。また、子ども達も、自由で自立的な活動ができた。安全支援ボランティアも、先生方に感謝され、子どもに事故がなかったことによって、やりがい感を感じている。
- (2) 16名の「ながら見守りボランティア」の方に、登校中の子ども達の安全の見守りをしていただいた。交通対策協議会長（喜多方市長）より表彰された方もいらっしゃる。

＜今後の予定＞ ・校外学習や下校の安全支援、教育環境の安全支援（通学路の雑草による危険箇所の除草など）を一層行い、安心安全と教育環境の充実を図る。
・人材リストと活用計画を作成する。

コミュニティスクール（学校運営協議会制度を導入した学校）の2つの機能

①「協議」を通じた学校運営の参画

②学校支援ボランティアなど「支援」による教育活動への参画

文責：広報部（五十嵐弘之・永瀬芳幸・鈴木洋子・相良さつき）